

いつかは…  
なんて言って  
いられない!

## 30~40代の男女に緊急アンケート調査

# やっぱりみんな気になっていた… 親のための「お墓」のこと。

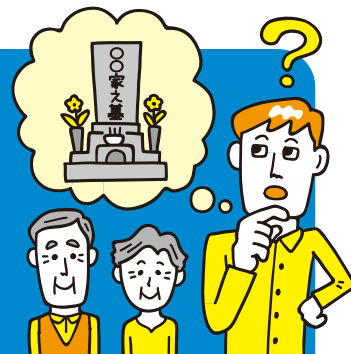
大人になると、「親のお墓」について、ふと頭をよぎることがあるという人も少なくないのでは？  
いつかは必要になる日がやって来るにもかかわらず、つつい先送りしてしまいがちな、そんな「お墓」の問題。  
今回は、30~40代の男女とその親世代の双方にアンケート調査。現代人のお墓意識について探ってみました。

PART  
1

### 30~40代の男女に調査!

## そもそも「親のお墓」について どれくらい真剣に考えてる?

※東京都内在住で、両親が存命の30~40代・男女各50人へのインターネットアンケート調査 / 2015年10月実施 / (株)MediaShakers調べ



### Q.1 葬式やお墓など、 親が「死んだらどうしてほしいか」 について、親と会話を したことがありますか?

具体的な話を  
したことがある

13%

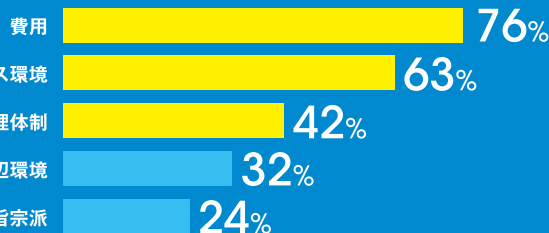
なんとなく話を  
したことがある

31%

ない  
56%

なんと過半数の人が「ない」と回答! 「死」にまつわる話は確かにデリケート。しかし、いずれ必ず来る「その日」に親の望みを叶えてあげられるよう、今からしっかりと話し合っておくことこそ、大人の「親孝行」といえるのでは?

### Q.2 親のお墓を選ぶ際に、 あなたが重視するのは 次のうちどれですか? (複数回答)



大切な親のため、安らかに眠れる環境を整えてあげたいというのは誰もが思うところ。しかし、現実として立ち足る最大の問題は、やはり費用の問題。さらにはアクセスの利便性や管理など、悩みどころは少なくないよう…。

### Q.3 あなた自身は、 親が満足できるお墓を 用意できると思いますか?

かなりそう思う

9%

どちらかとい  
えば  
そう思う

25%

とても不安  
34%

どちらかとい  
えば不安

32%

「とても不安」「どちらかといえば不安」を合わせると、なんと7割弱の人が不安を感じていると判明。日常生活ではあまり触れる機会のない「お墓」事情。だからこそ、早めに情報を集め、万全の準備を心掛けておく必要があるのかも。

### 費用面などに不安を抱えつつも、 対応を先延ばしする現状が判明!

アンケート結果から見てきたのは、「親のお墓」をどうするかについて不安を抱えつつも、不安解消への一歩を踏み出せていないという人がかなり多いという状況。「親の死後、お墓についてどうするか決まっているか」というアンケートでは、実に4割近くの人が「まだ具体的に決めていない」と回答しました。ただ、いつかは必ず直面するのが、お墓の問題。いざというときに、大切な親が安心して眠りにつくことができるように、親の希望や条件、費用の面など、お墓に関する「わからないこと」については早めに話し合い、不安の元をきちんと無くしておくことが大切です。親が切り出すのを待っているのではなく、まずはこちらから、きちんと聞いてみるという姿勢も、必要なかもしれませんね。

結論!

話しにくいけど、いつか来る…。不安は先延ばしせず、早めに話し合いを!

PART  
2

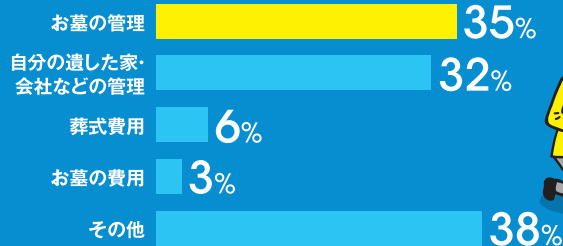
親世代が考える「お墓のホンネ」を徹底調査!

# 僕らの親は「自分のお墓」についてどう考えているのか…

※東京都内在住で、子どもがいる60～70代・男女各50人へのインターネットアンケート調査／2015年10月実施／(株)MediaShakers調べ

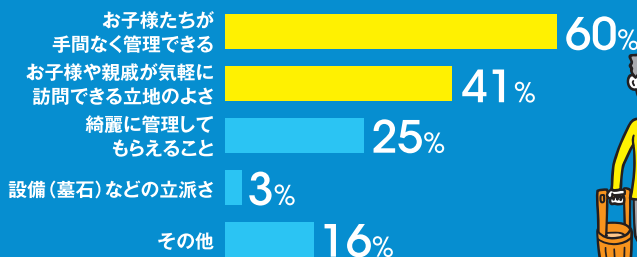
## Q.1 自分の死後に、子どもに面倒を見てもらいたいことはありますか? (複数回答)

家などの遺産よりも、子どもにはお墓の管理を望む親が多数! 「子どもに迷惑をかけたくない」というお墓に関する親世代の声をよく聞く一方、「本当は自分の子どもに見守ってほしい」というホンネがチラリ…



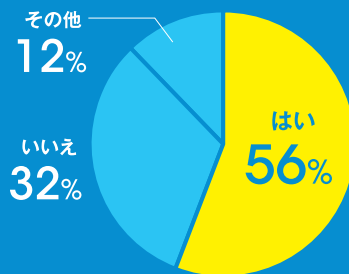
## Q.2 自分のお墓を選ぶ上で大事にしたいことはありますか? (複数回答)

自分のお墓は子どもに管理してほしいし、気軽に訪問してほしい…そんな親のホンネを裏付けるように、お墓選びのポイントにも、管理や立地の利便性をあげる親が多数。ただ、都内近郊で条件に合うお墓を見つけるのは、大変そう…!



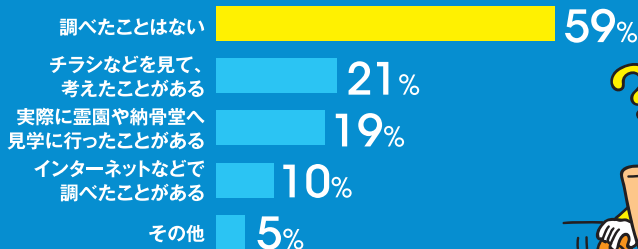
## Q.3 自分のお墓には子どもにも入ってほしいと思いますか?

過半数の親は、自分の墓に子どもにも入ってほしいと考えていることが判明。親のお墓をどうするかは、親だけの問題にあらず。「親のもの」ではなく、「自分のもの」として考える視点も必要かも…



## Q.4 実際に自分のお墓について行動したことがありますか? (複数回答)

お墓について思うところは多々あるものの、実際に行動を起こした親はまだ少ないようで、「調べたことはない」が過半数を占める結果に。自分ゴトであるお墓の話。今こそ話し合いのチャンスかも!



### 管理については子どもに期待!? しかし準備はまだまだ整わず…

自分のお墓について、子どもたちに対する期待が少なくないという親のホンネが判明した今回の調査。維持や管理だけでなく、さらには「自分と同じお墓に入りたい」と望んでいる親が多く見受けられた一方で、実際に自分のお墓について準備までをしっかりと進めているという人は、さほど多くないこともわかりました。突き詰めて考えれば、親のお墓は自分の生活、さらには自分の死後にもかかわってきそうな大切な問題。自分がお参りや管理をしやすいお墓とはどういったものなのか、さらには自分の死後はどうしたいのか…。親のお墓について考える際には、自分自身の将来も見据え、長期的な視野できちんと計画していく必要があります。

**結論!** ▶▶ 親のお墓は親だけの問題にあらず! 自分ゴトとしてしっかり考えるべし!

どうやら僕らにぴったりな理由がいろいろあるらしい

# 「自動搬送式納骨堂」 のこと、調べてみました。

「やっぱり、そろそろ“お墓”のことを真剣に考えてみよう」とは思ったものの、場所・価格など幅広い選択肢の中からどんなものを選ぶといいのかわからない…というのが正直なところ。そこで、今、注目が高まっている「自動搬送式納骨堂」についてご紹介。

## 自動搬送式納骨堂とは？

「マンション型のお墓」と呼ばれる自動搬送式納骨堂は、都市部の「お墓不足」が深刻化する近年、新しいお墓のスタイルとして注目を集めています。骨壺の安置スペースに加えて参拝スペースや本堂を施設内に設けている施設が多く、新しい時代のお墓と呼ぶことができます。骨壺は立体駐車場のようには保管・管理され、参拝者が手続きをすると自動で参拝口に自分の家の遺骨箱が運ばれてきて参拝ができるという形が一般的です。

### 特徴① 参拝が簡単！

遺骨箱は施設内の収蔵庫で保管・管理されている。参拝スペースは施設内に複数箇所設けられており、天候に左右されずにゆったりと参拝が可能。多くの施設は参拝スペースが1区画ごとに区切られているのでプライバシーも守られています。参拝者は入館後、専用のICカードをかざし、受付をすると遺骨箱が参拝スペースに自動で運ばれてくるので、手間なく参拝が可能。

### 特徴② 手入れ不要！

自動搬送式納骨堂は雨風にさらされることもなく、参拝スペースを施設スタッフが清掃を行うので、外墓地のような草むしりや掃除といった手入れはする必要がありません。参拝の際のお供え物やお花も施設スタッフが日々管理をしているため、一年中いつでも快適に利用することができます。

### 特徴③ 安価！

東京都内のお墓の平均価格(永代使用料と墓石価格)は約257万円。全国平均でも約196万円と非常に高額な買い物であるが、自動搬送式納骨堂は墓石代が不要なため一般的に安価といえます。主な費用は永代供養料と管理料となり(場合によっては戒名代や墓碑代なども発生)約100万円前後が相場。

・大人の“マジメな”社会見学・

～はじめての自動搬送式納骨堂へ～

## 「ひかり陵苑」に行ってみた。

目黒駅から東急目黒線でひと駅の不動前駅で下車。閑静な住宅街を少し進むと山の手の一等地にひかり陵苑があります。納骨堂を運営・管理しているのは平安時代の初めに開山したという臥龍山安養院。1000年以上の歴史をもつ由緒ある寺院です。その参道や山門、観音堂などに囲まれ、室内型納骨堂でありながら、由緒あるお寺に護られるという安心感を実感できるのも特徴です。



木々花々に囲まれた、重厚な石造りの5階建てビルに入り、1階エントランスへ。室内に広がるのは、山の手の一等地にふさわしいモダンで上質な空間。全館バリアフリーとなっているので、もし家族に車いすの人がいても不便なく移動可能。小さな子どもからお年寄りまで誰でも快適に参拝できます。



1階と3階は参拝室。荘厳な参拝スペースの他にも、お参りする人が利用できるラウンジも設けられています。季節や天候に左右されることなく、ゆっくりとお参りできるのが室内墓の大きなメリット。「ひかり陵苑」はアクセス面での利便性もよいので、「いつでも気軽なお墓参り」を実現することができます。



5階の御本堂にまつられているご本尊は、金色八尺の寝釈迦像。「ひかり陵苑」は寺院の運営でありながら、在来仏教の人であれば、誰でも利用可能。お墓選びのハードルになりがちな宗旨・宗派は問わず、また多くの寺院墓地で求められる檀家入りも必要もなく、永代供養を受けることができます。

教えてくれたのは



ひかり陵苑販売・広報担当  
坪居亜希子さん

品川区と目黒区のちょうど境目にある2012年開苑の自動搬送式納骨堂「ひかり陵苑」は、開苑以降高い注目をあつめており、その成約率は、高い割合で年々伸び続けております。

### Q 普通の「お墓」とは何が違うの？

郊外のお墓(外墓地)との違いは「維持する手間がかからない」「アクセスしやすい立地」の2点に尽きると思います。「お墓は(多少遠くても)高いお金をかけて立派なものを建てる」という価値観と、「お墓は先祖代々続くもの」という固定概念が薄れ、「立派でなくても近くていつでも墓参りできるほうが良い」「お墓はその代その代がどうするか決めていけば良い」という考え方が浸透してきたのではないのでしょうか。

### Q 成約者からはどんな声・感想が？

ご成約者からは「お墓参りに気軽に来られるから良い」というご感想とともに、ひかり陵苑は「葬儀や法要施設が併設されていて便利」「運営主体が「お寺」なので安心」という声もいただいています。都心の深刻な墓地不足は今後も加速するものと思われます。その中で、親御さんのお墓探しを手伝うことは「最後につながる親孝行」なのではないでしょうか。生前にお墓を用意された方の多くは、「これで安心して余生を楽しめる」とおっしゃっています。

「ひかり陵苑」に関する詳細情報はこちらで ☎ [www.hikariryoen.or.jp](http://www.hikariryoen.or.jp)